

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

令和6年7月11日発行

1. 発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

疾病	疫学週				判断基準(定点当たり)		
	24週	25週	26週	27週	警報レベル		注意レベル
	6月10日～6月16日	6月17日～6月23日	6月24日～6月30日	7月1日～7月7日	開始基準値	収束基準値	基準値
インフルエンザ#	0	1	0	1	30	10	10
	—	0.33	—	0.33			
新型コロナウイルス感染症#	11	21	16	14	-	-	-
	3.67	7.00	5.33	4.67			
RSウイルス感染症	1	2	4	1	-	-	-
咽頭結膜熱	1	0	0	0	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	6	4	3	8	4	-
感染性胃腸炎	18	7	8	0	20	12	-
水痘	0	0	0	0	2	1	1
手足口病	0	2	1	5	5	2	-
伝染性紅斑	0	0	0	0	2	1	-
突発性発しん	0	0	0	1	-	-	-
ヘルパンギーナ	0	0	0	1	6	2	-
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	6	2	3
急性出血性結膜炎	定点設定なし				1	0.1	-
流行性角結膜炎	定点設定なし				8	4	-
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	定点設定なし				-	-	-
無菌性髄膜炎	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎	定点設定なし				-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	定点設定なし				-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎(小児科)	0	0	0	0	-	-	-
川崎病	0	0	0	0	-	-	-
不明発疹症	0	0	0	0	-	-	-

栗原支所管内定点数: #は3施設。それ以外は2施設

2. 施設対応状況 (過去2週間における支所対応状況) ◎:複数対応中、○:対応施設あり、-:対応無し

施設区分	保育所	高齢者・障害者入所施設	医療機関
対応状況	—	—	—
備考			

*「1.発生動向」の解釈について

- ・上段は圏域全体で一週間に診断した患者数
- ・下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数
- ・下段の定点当たりの数値を表右側の判断基準と照らし合わせて評価してください。

3. 栗原支所より

【 定点把握対象疾患 】

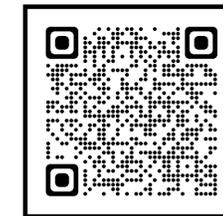
- ・新型コロナウイルス感染症はやや横ばいです。
- ・RSウイルス感染症は減少しました。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎はやや横ばいです。
- ・手足口病は増加しました。

【 集団発生情報 】

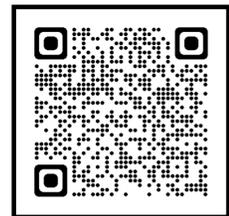
新たな集団発生の報告はありません。

【 感染症コラム ～ヘルパンギーナ～ 】

- ・乳幼児を中心に初夏から秋にかけて、発熱と口腔粘膜に現れる水疱性の発疹を特徴とした急性のウイルス性咽頭炎です。
- ・感染経路は接触・飛沫感染です。
- ・2～4日の潜伏期を経て、38～40℃の発熱が1～3日間続き、咽頭痛、咽頭粘膜の発赤、口腔内に1～5mmの水疱が出現します。
- ・急性期に最もウイルスが排泄され感染力が強く、回復後にも2～4週間に渡り便中にウイルスが排泄されることがあります。
- ・予防として、発疹を触った後・排便後・乳幼児のおむつ交換後の手洗い、換気、環境消毒等を徹底しましょう。(※アルコール消毒が効きにくいウイルスのため流水・石けん手洗い、塩素系の消毒薬で環境衛生を)



感染症情報 ←



性感染症検査 ←

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
 ☎0228-22-2117 📠0228-22-7594
 HP:https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwfz/ktindex.html